

VII-1956). 美方郡扇ノ山〔辻, 岸田, 1972〕.

16. *Teneroides maculicollis* LEWIS キムネツツカッコウムシ
割合いるようだが, 所謂る山地性の種のように, 平野部での産は殆ど知られていない.

産地: 川西市笹部〔仲田, 1978〕. 宍粟郡音水(1 ex. 20-VII-1959).
赤西(1 ex., 23-VI-1979). 氷上郡〔山本, 1958〕. 養父郡
氷ノ山〔伊賀, 1950〕, 大屋町田淵山(1 ex., 5-VIII-1975,
M. Yuma leg.). 美方郡香住〔伊賀, 1950〕.

以上, 僅か16種の県下での記録であり, まだまだ調査不十分な点が多い. 今後共調査を続けていきたいと思っている.

短報 ヤマサナエがウスバシロチョウを捕獲

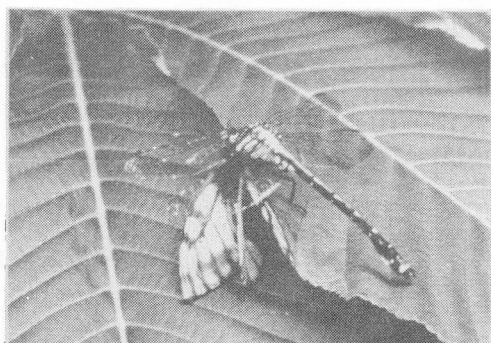
足立 義弘*

1981年6月14日, 午後2時頃, 関宮町葛畑で, ヤマサナエが飛翔中のウスバシロチョウを捕獲するのを, 同行の木下氏と共に目撃した.

ヤマサナエは, 捕獲後すぐに, 近くの草の葉上に止まった. しかし, 我々が近づいたために飛びたち, さらに4~5m離れたトチの葉上に静止した.

確認のため採集したところ, ウスバシロチョウは背部から前胸にかけて咬みつかれていた.

トンボがチョウを捕獲するといった報告は少ないようであり, 筆者自身, 目撃したのは初めてであった. ウスバシロチョウ成虫の天敵としてもリストアップできることの意味も含めて, ここに報告する.



ウスバシロチョウを捕えたヤマサナエ

*現住所 〒616 京都市